

# 早期景気観測調査

**【6-7月期 調査結果概要報告書】**

平成28年8月



**甲府商工会議所**

## ◆調査要領

1. 調査の目的： 山梨県内で最も速報性の高い『街角の景況感』を把握する調査として中小企業の明日の経営活動に資する。
2. 調査実施機関： 甲府商工会議所
3. 調査実施時期： 平成28年7月15日(金)～29日(金)
4. 調査対象： 当所会員153事業所
5. 調査方法： ファクシミリによるアンケート方式
6. 有効回答数： 109件
7. 有効回答率： 71.2%
8. 特記事項： 原則、小数点以下第二位で四捨五入

## ◆結果概要

【6－7月期の動き】

**業況DIは2期連続の悪化。  
業況好転の業種も小幅な改善にとどまる。  
向こう3ヶ月の業況は改善の見通し。**

6－7月期の全業種総合の業況DIは▲38.2（前期比▲9.1ポイント）と、2期連続の悪化となった。採算DIが5期連続での悪化となり、売上DIは連続していた悪化傾向がストップしたが、いずれも厳しいマイナス水準が続いている。その他、仕入単価DI・金融貸出しDIは改善、従業員DIは悪化に転じている。

向こう3ヶ月の業況は、改善となる見通し。

業種別では、建設業・サービス業で業況改善、製造業・卸売業・小売業で業況悪化となった。

**製造業**の業況DIは▲29.6（前期比▲3.7ポイント）と4期連続の悪化となった。仕入単価DI・従業員DI・金融貸出しDIはそれぞれ改善に転じたものの、売上DIについては横ばい、採算DIは3期連続で悪化となっている。

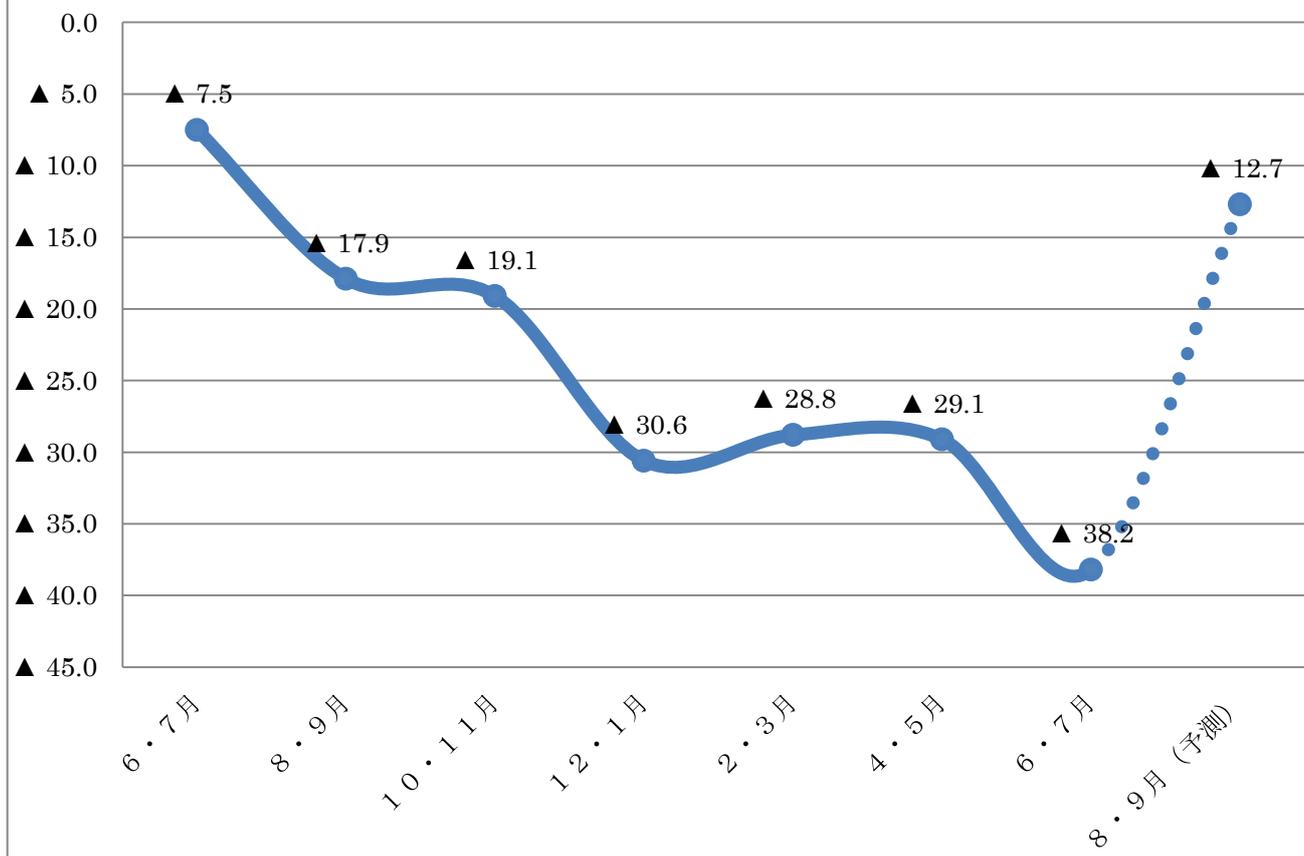
**建設業**の業況DIは▲28.6（前期比＋3.0ポイント）と2期連続の改善となった。売上DIについては、前期比＋29.9ポイントの大幅な改善が見られたが、一方で採算DI・仕入単価DI・従業員DI・金融貸出しDIについてはそれぞれ悪化しており、楽観視はできない状況にある。

**卸売業**の業況DIは▲11.8（前期比▲6.5ポイント）と悪化に転じた。売上DI・仕入単価DIがそれぞれ2期連続での改善となったが、採算DIについては、小幅な悪化に転じている。また、従業員DIは大幅な悪化、金融貸出しDIは大幅な改善を見せている。

**小売業**の業況DIは▲66.7（前期比▲32.1ポイント）と大幅な悪化に転じた。仕入単価DIこそ5期連続での改善を見せているが、売上DI・採算DIがそれぞれ大幅な悪化に転じ、極めて低い水準となっている。従業員DIは、ほぼ横ばい、金融貸出しDIは小幅な改善となっている。

**サービス業**の業況DIは▲47.1（前期比＋2.9ポイント）と小幅な改善に転じた。売上DIは改善、採算DIは悪化となったが、いずれも前期大幅に悪化した状態からの小幅な変動となっており、依然として低水準のままである。また、仕入単価DIについてはほぼ横ばい、従業員DIは3期ぶりに悪化に転じ、金融貸出しDIは横ばいで変動はない。

# 業況D I の推移

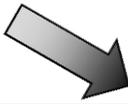


## ◆全業種・業種別詳細

### ※ D I 値 ( 景況判断指数 ) について

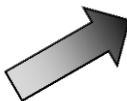
D I 値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

### ◆指標の見方

前回D I に比べて ( 先行は今回実績値に比べて )		
改善	不変	悪化
		
D I 値	D I 値	D I 値

※仕入単価D I は、仕入単価が下落した場合、「」(改善)と表示しております。  
従業員D I は、従業員が不足している場合、「」(改善)と表示しております。

## ◆全業種総合

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲38. 2	▲12. 7	▲41. 8	▲41. 8	▲13. 6	10. 0	5. 5

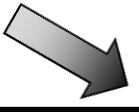
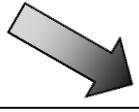
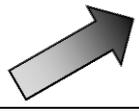
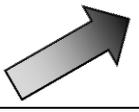
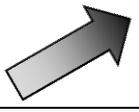
6-7月期の全業種総合の業況D I は、▲38. 2 (前期比▲9. 1ポイント)となり、2期連続での悪化となった。

項目別では、売上D I は横ばい (▲41. 8)、採算D I (▲32. 7→▲41. 8)・従業員D I (14. 5→10. 0)は悪化、仕入単価D I (▲19. 1→▲13. 6)・金融貸出しD I (0. 9→5. 5)は改善となっている。とりわけ採算D I については、前期比▲9. 1ポイントと5期連続で悪化している。また、売上D I は7期ぶりに悪化に歯止めがかかる形となったが、依然として低い水準で推移している。

向こう3ヶ月の先行き業況は、▲12. 7と改善する見通し。

## ◆ 業種別

### 製造業

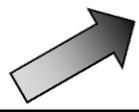
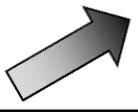
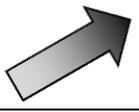
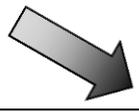
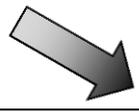
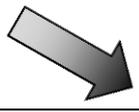
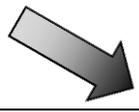
業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲29.6	▲7.4	▲29.6	▲18.5	▲7.4	11.1	3.7

業況D Iは▲29.6（前期比▲3.7ポイント）で、4期連続の悪化となった。

仕入単価D I・従業員D I・金融貸出しD Iはそれぞれ改善に転じたものの、売上D I（▲29.6）については横ばいながら低水準が続いており、また採算D Iは3期連続で悪化（▲14.8→▲18.5）となっている。

向こう3ヶ月の業況は、▲7.4と大幅に改善する見通し。

### 建設業

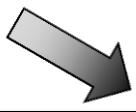
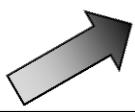
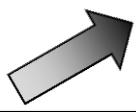
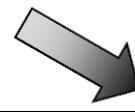
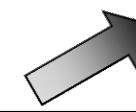
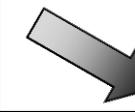
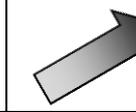
業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲28.6	▲23.8	▲33.3	▲47.6	▲23.8	9.5	9.5

業況D Iは▲28.6（前期比+3.0ポイント）と2期連続の改善となった。

項目別では、売上D Iが▲63.2→▲33.3と+29.9ポイントの大幅な改善が見られた。しかし一方で、採算D I（▲36.8→▲47.6）・仕入単価D I（▲21.1→▲23.8）・従業員D I（15.8→9.5）・金融貸出しD I（10.5→9.5）についてはそれぞれ悪化しており、楽観視はできない状況にある。

向こう3ヶ月の業況は、▲23.8と改善の見通し。

### 卸売業

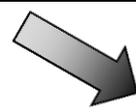
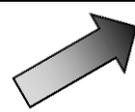
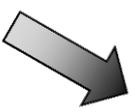
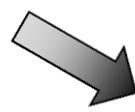
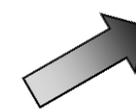
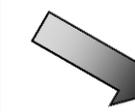
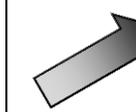
業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲11.8	▲5.9	▲29.4	▲23.5	5.9	11.8	11.8

業況D Iは▲11.8（前期比▲6.5ポイント）と悪化に転じた。

項目別では、売上D I（▲31.6→▲29.4）・仕入単価D I（▲5.3→5.9）がそれぞれ2期連続での改善となっているが、採算D Iについては、小幅ながら悪化（▲21.1→▲23.5）に転じている。また、従業員D Iについては大幅な悪化（26.3→11.8）、金融貸出しD Iについては大幅な改善（0.0→11.8）を見せている。

向こう3ヶ月の業況は、▲5.9と改善の見通し。

### 小売業

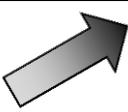
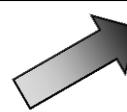
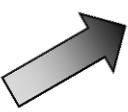
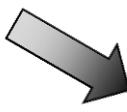
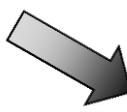
業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲66.7	▲14.8	▲66.7	▲66.7	▲14.8	11.1	3.7

業況D Iは▲66.7（前期比▲32.1ポイント）と大幅な悪化に転じた。

仕入単価D Iこそ5期連続での改善（▲30.8→▲14.8）を見せているが、売上D I（▲42.3→▲66.7）・採算D I（▲46.2→▲66.7）がそれぞれ大幅な悪化に転じ、極めて低い水準となっている。従業員D Iは、ほぼ横ばい（11.5→11.1）、金融貸出しD Iは小幅な改善（0.0→3.7）となっている。

向こう3ヶ月の業況は、▲14.8と大幅な改善となる見通し。

サービス業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲47.1	▲11.8	▲47.1	▲52.9	▲29.4	5.9	0.0

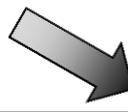
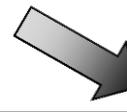
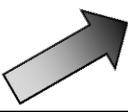
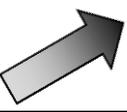
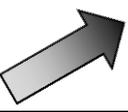
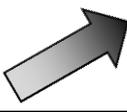
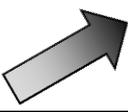
業況D Iは▲47.1（前期比+2.9ポイント）と小幅な改善に転じた。

売上D Iは改善（▲50.0→▲47.1）、採算D Iは悪化（▲50.0→▲52.9）となったが、いずれも前期大幅に悪化した状態からの小幅な変動となっており、依然として低水準のままである。また、仕入単価D Iについてはほぼ横ばい（▲27.8→▲29.4）、従業員D Iは3期ぶりに悪化（16.7→5.9）に転じ、金融貸出しD Iは横ばい（0.0）で変動はない。

向こう3ヶ月の業況は、▲11.8と大幅な改善となる見通し。

## 業種別詳細

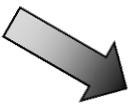
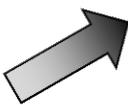
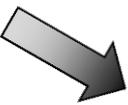
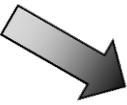
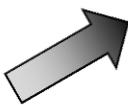
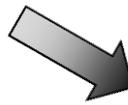
製造業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

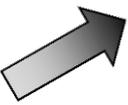
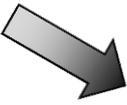
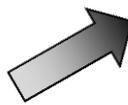
製造業（家具）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

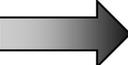
製造業（工業製品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

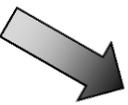
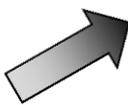
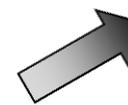
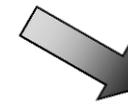
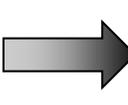
製造業（宝飾）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

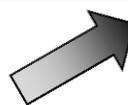
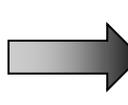
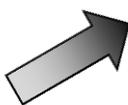
製造業（繊維）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

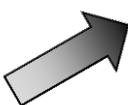
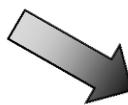
建設業（建築）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

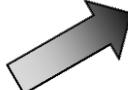
建設業（土木）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

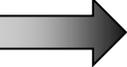
建設業（鉄鋼）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

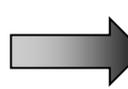
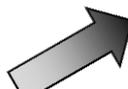
卸売業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

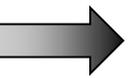
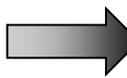
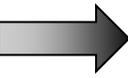
卸売業（繊維）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

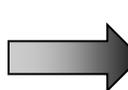
卸売業（その他）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

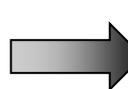
小売業（大型店）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

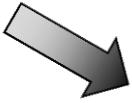
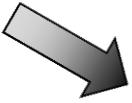
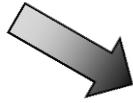
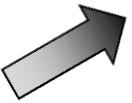
小売業（食料品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

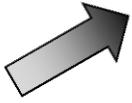
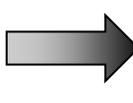
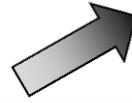
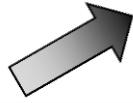
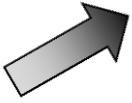
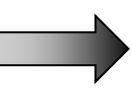
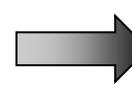
小売業（事務用品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

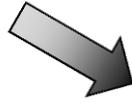
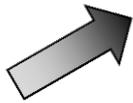
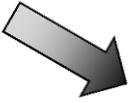
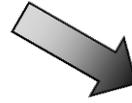
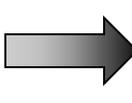
小売業（趣味・日用品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

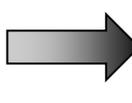
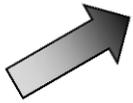
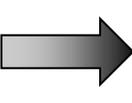
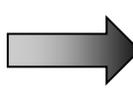
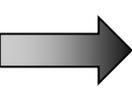
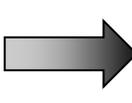
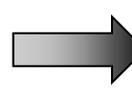
小売業（家電）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

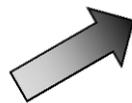
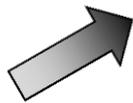
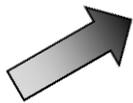
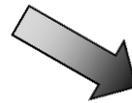
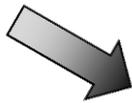
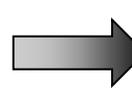
サービス（ホテル・旅館）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

サービス業（観光）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

サービス業（飲食その他）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

## ➤ 中小企業の声（現状や直面してる課題）

### 【製造業】

#### 製造業（食品）

- ・ 外食、飲食チェーングループの需要が好調。東京の業務筋が元気。
- ・ 引き続きバスの集客は厳しい状況にあります。しかし、昨年減少した夏休みのバスツアー予約が入っており、明るい兆しはあります。今年は季節物の日本酒等も提案し、夏場の厳しい状況を少しでも良い方向に転換しようとしています。

#### 製造業（家具）

- ・ 日本全体に少子高齢化の影響が長期的に出てきています。アベノミクスに惑わされないよう、自社自身の足元をしっかりと見つめていくことが必要ではないでしょうか？

#### 製造業（工業製品）

- ・ 前年同期との比較では売上が増加しているが、市場の状況よりも、当社の設備や、人員の強化による効率化等による要因が大きいと思われる。国内市場動向は依然として厳しい。
- ・ スマートフォン市場は、次期モデル移行に向けての生産調整などから需要は停滞気味ですが、7月以降は次期モデルへの部品取入が始まり、需要は増加しております。

### 【卸売業】

#### 卸売業（食品）

- ・ 売上に苦戦しています。

### 【建設業】

#### 建設業（建築）

- ・ 公共事業を中心に受注している会社は（特に建築）人口減や予算配分減の影響から厳しい経営が予想されそうです。人が増えないことにはあらゆることが縮小傾向になるため、建築にも今後大きな影響が出てくると考えています。
- ・ 全体がスローペースになっている感じがする。

#### 建設業（土木）

- ・ 公共工事が無いです。

## 【小売業】

### 小売業（大型店）

- ・衣料のバーゲンを7月1日にしたが、競合SCが6月中にスタートしたため、フリー客の獲得に苦戦。昨年7月上旬は長雨だったが、今年は早くも35度を超える猛暑日が続き、昼～夕方までの客足が鈍い。

### 小売業（食料品）

- ・洋菓子業界は今年5月頃から売上が悪くなり、6月7月も悪い状況が続いています。参議院選挙後、特に売上が悪く大変です。山梨に限らず東京都内でも良くないようです。アベノミクスの効果はいつのことやら？

## 【サービス業】

### サービス業（ホテル）

- ・6、7月は前年と比べ、今までになく利用客が少なかった。7月後半になり予約も入るようになりました。前年は南アルプスへの登山客（外国人）も20名程ありましたが、今年は28日までで5名程です。広河原までの外国語の時刻表、南アルプスの登山情報があるといいと思います。

### サービス業（観光）

- ・団体客が前年対比で激減しているために売上が減少しております。
- ・人手不足は否めないところである。地元採用の優遇化を図りたいところです。
- ・昇仙峡の観光客は横ばいで推移している。
- ・仕入（軽油）単価は前年同月比では大幅な値下がりですが、2-3月水準に比べ上昇傾向が続いており、懸念材料です。

### サービス業（飲食その他）

- ・基礎食料品（みそ、醤油、バター、砂糖等）の値上げが著しい。専門職（調理師等）が依然不足している。
- ・鰻の仕入単価が上昇しています。丑の日前後の最繁忙期なので、全日で需要が増大している影響とされます。